科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
チーム医療論	３年次　前期	必修	講義	１単位（１５時間）	南雲　陽子　※

授　業　概　要

多様化する国民のニーズに対応するには、保健医療福祉専門職の連携協働によるサービスの提供と資質の向上が必要である。これら多職種で構成されるチームメンバーが連携協働して援助活動を行っていくためには、チームメンバー同士が相互に役割を補い合い、学習し合うことでチーム力を高め、連携協働するチームとしての自己の専門性を高めていく必要がある。ここでは、日本の医療システムの概要（保健、福祉システムの関連）、専門職種の理解（医療関連職種の職能、役割等）、疾患と医療チーム（医療現場で形成される医療チームとその成員の連携プレイの具体例）、クリティカルパス、医療倫理をはじめとしてチーム医療に関する基本的知識を修得する。

到　達　目　標

１．安全で良質な医療提供、チーム医療の必要性と意義について理解する。
２．多職種の医療専門職の協働が不可欠であることを理解する。
３．チーム医療演習で学習し合うことでチーム力を高め、連携協働することで自己の専門性を高めていく必要があることに気づく。

実務経験のある教員

霜垣　美由紀・南雲　陽子：臨床現場での実務経験を踏まえ、チーム医療の必要性と意義や実際のチーム医療がどのように行われているか概説する。

回	学　習　内　容	担当教員
1-3	１．安全で良質な医療提供、チーム医療の必要性と意義 ２．医療現場において形成される医療チームとその構成員の連携プレイの具体例 １）各専門職の役割について ２）チーム医療の中の看護師の役割 ３）チーム医療におけるコミュニケーション ４）チーム医療の実際	霜垣　美由紀※
4-8	３．事例を展開し、チーム医療の意義を学ぶ	南雲　陽子※

学　習　方　法

講義及び演習形式で進める。北里大学全体のチーム医療教育の一環である。患者さん中心の看護展開のためには他職種の存在は欠かせないものであるため、自分の職種を再確認しながら他職種への興味関心を持ち学習を深める。

評　価　方　法

〔評価方法〕
グループ評価及びレポートで評価する。

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
インタープロフェッショナル・ヘルスケア　実践チーム医療論　実際と教育プログラム　水本清久ら編　医歯薬出版
〔参考書〕
公衆衛生がみえる　医療情報科学研究所　編集　　メディックメディア
IPWを学ぶ　　埼玉県立大学編　　中央法規